



念願の特養老人ホーム建設決まる!!

第56回臨時総代会で議決

社会福祉法人わかやま虹の会の設立及び地域密着型特別養護老人ホーム開設の支援に関する件

和歌山中央医療生活協同組合として、社会福祉法人わかやま虹の会の設立と地域密着型特別養護老人ホームの開設を支援します。

(1) 特別養護老人ホーム建設のための資金の一部として、和歌山中央医療生活協同組合から6千万円の寄付を行ないます。

(2) 「社会福祉法人わかやま虹の会を支える会」を立ち上げ、寄付金運動などにとりくみます。



3月30日(土)北コミュニティセンターで第56回臨時総代会が開催されました。久保田専務理事から上記内容が提案され、総代議員総数196名中、出席総代137名、代理出席18名、書面議決37名、総数192名の全員賛成で議決されました。総代会では、社会福祉法人設立にむけて、社会福祉法人の説明、特別養護老人ホームの説明、地域密着型特別養護老人ホームの建設計画、概要などが報告されました。また討論で、5人の方々が提案を受けて発言されました。古田生協病院院長は、「高齢者状況について」、宇城総代は「100歳の母の介護と施設について」、職員の山本さんは4月1日開所の「複合型サービス生協中之島について」、駒田総代は「母を看取り妻を介護して」、小西附属診療所長から「社会福祉法人設立、理事長予定として」それぞれ、特養ホームへの期待が述べられました。

生協中之島「複合型サービス」開所式 4月1日オープン

4月1日、昨年閉所した中之島診療所から装いを新たに生協中之島「複合型サービス」事業所が開設されました。3月28日に開所式、説明会が執り行なわれ、組合員さんが集いました。

介護保険の複合型サービスは、通所、訪問、泊まり、必要に応じて訪問看護を提供するサービスです。かかりつけ医師と連携して、事業所のケアマネージャーがケアプランを作成して、それにもとづいて、顔なじみのケアワーカーや看護職員が、利用者さんの在宅療養生活を支えます。この事業は県下では初めてで注目されています。

